

外国人の見た日本 -- 言葉が分かれば文化が見える？ (カルチャー・ショック)

著者	Dolly Kyaw[著], 松原 浩司[訳]
権利	Copyrights 日本貿易振興機構 (ジェトロ) アジア経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) http://www.ide.go.jp
雑誌名	アジ研ワールド・トレンド
巻	160
発行年	2009-01
出版者	日本貿易振興機構アジア経済研究所
URL	http://hdl.handle.net/2344/00004855

カルチャー・ショック 外国人のみた日本



Dolly Kyaw
出身地：ミャンマー
所属：イエジン農業大学農業経済学部助教授
日本滞在：2008年6月～12月

言葉が分かれば文化が見える？

ドーリー・チョー

日本に来る前、私はなぜ多くの人々が日本に行きたがるのか、また、なぜ日本がアジアの国々の中で有名であるのか、よく分からなかった。単に日本は世界でもっとも裕福な国の一つであるから有名なのだと考えたかもしれない。

特定の文化を研究するには相当の時間が必要となるだろうが、私は六カ月という限られた時間ながらも、日本の社会や伝統文化のいくつかに接したり観察する機会を得ることができた。

最初に私が気づいたのは、この国には、買い物や旅行に出歩く多くの老人がいるということである。私の国の老人たちは子供や親戚に依存している人が多いが、日本の老人はより自立的で健康的なようだ。衛生的な環境、新鮮なものを食べる生活スタイルなどが長寿へと導くのであろうか。

日本の食べ物は多種多様で様々な味や色のなかから好きなものを選ぶことができる。外国人は寿司や刺身を楽しみ、いろいろな種類の魚や貝に魅了されるだろう。最初は高くておいしくないと思うかもしれないが、すぐになぜ日本食が世界的に有名で、世界で日本食レストランが爆発的に増えているのか、理解するようになるだろう。食べ物だけでなく花などを様々にデコレーション

するのも日本の際だった文化である。

毎週月曜日の午前中に開かれるボランティアグループによる日本語の授業は、文化の交流、そして日本文化についての理解を深める機会を与えてくれた。ボランティアグループの先生たちは、そのほとんどが主婦であるが、いろいろな国で暮らした経験を持つ人が多い。授業が終わると先生たちと生徒たちは使ったテーブルと椅子を倉庫にしまふ。私はこの種のマナーをスミングクラブでも観察することができた。クラブのインストラクターたちは、クラスが一旦終わると使った道具を必ず元の場所に戻すのである。三〇分の休憩時間の後にはまたクラスの練習が始まるのだが、彼らはきちんと道具をしまっていた。

お茶会、相撲、季節のお祭りなど伝統のあるおもしろい固有の文化がたくさんある。夏の間、私はこの国のあちこちで花火や盆踊りを見ることができた。日本には有名や奈良や鎌倉の大仏があるが、多くの人は特定の宗教を持っていない。しかし、アジアに位置する国なので、日本人の信仰は他のアジアの国々のそれと似ているようだ。たとえば、祖先の霊を敬い幸せを願うところなど。

地理的に孤立し民族的な同質性が高いこ

とが日本の豊かな伝統文化を守ってきたのだろうか。外国人は日本社会の閉鎖的な一面と言葉の難しさにショックを受けるかもしれない。この国で道に迷えば頼りにできるのは警官か役所の人だけだ。乗り合わせた電車やバスの乗客に聞いても分からない。しかし、ここは安全で平和な国である。日本は世界人口のわずか二%の人口でしかないにもかかわらず、ハイテク技術を持ち、世界のGDPの一〇%を生産している。犯罪の数もとても少ない。

私は日本の音楽や映画、伝統的なスポーツなどを見聞いたが、どれも表面的な印象にとどまり、「理解」を得たとは言えないかもしれない。なぜなら、テレビで放送されるそれらは日本語という媒体を通して提供されたからだ。少なくとも、この点は私の日本語学習の至らなさである。そのため、私は日本文化を「理解」できたのではなく、それらに触れていただけなのかもしれない。この国の言葉を学びさえすれば、理解できる多くのことが待っていることだろう。

(前海外客員研究員／訳＝松原浩司)